

藤原伸子先生（本学臨床検査科 15 期生）講演会開催

新入生オリエンテーションの一環として、平成 24 年 4 月 4 日、「臨床検査技師への意識づけ講座」を開催しました。講師は、本学臨床検査科の卒業生で、現在、岡山済生会総合病院中央検査科にご勤務の藤原伸子先生にお願いしました。新入生にとっては、現場で活躍している「先輩」のお話を直接聞くことにより、具体的な職業人イメージがわき、将来の展望が広がるとともに、今後の学習に対する強い動機づけとなったようです。

同窓会の支援を受けて昨年から開催している「就職支援講座」は、学生に大変好評で、職業意識を高め、学習意欲を促進するうえで効果があがっています。同窓会に対し感謝申し上げ、今後とも後輩の指導にご助力いただけますようお願い申し上げます。

■講演を終えて——藤原伸子先生からのメッセージ

4 月 4 日、同窓生による動機付けの講義として「職場の先輩からのメッセージ」と題し、お話させていただきました。講演の直前に、「今回が初めての試み」と聞かされ、新入生を前にドキドキしながらの 1 時間でした。

話の内容は、私の職場を紹介しながら、臨床検査技師の仕事や役割、こんな資格も頑張れば取れるよということを伝えました。また、学生生活を満喫しながらも卒業後、社会人になって恥ずかしくないように、①素敵な笑顔、②自然に挨拶ができる、③気配り・心配りの配慮ができるなど、当たり前のことが当たり前にできる人になって欲しいと話をさせていただきました。

まだ入学前の講義で、眠っている人がいるかと思っていましたが、こちらをしっかりと見ていた新入生の目は生き生きとしていて、若いエネルギーと将来への夢をいただきました。ありがとうございました。

3 年後、様々な現場に皆さんが就職し、一緒に仕事ができるのを楽しみに待っています。



■学生の感想

臨床検査技師は幅広い分野で活躍しているのだと改めて感じました。裏方に見えますがとても重要な仕事なので、自分が臨床検査技師であるという誇りを持って将来働いていきたいとします。卒業して国家試験に合格することがゴールではなく、社会に出てからがとても大切であると改めて感じたので、日々学ぶ気持ちを忘れず過ごしていきたいです。(M.M)

就職してからさらに資格を取るということは考えていなかったもので、就職してから新しいことを学ぶ意欲が大切だと感じました。私は 4 月からのオリエンテーションでくじけそうだったのですが、今日の講演を聞いてこれから頑張っていこうと思いました。(C.N)

今日の講演を聞いて、今まであまり意識していなかったことに改めて気づくことができました。例えば、笑顔であいさつすることはとても大切であるということです。頭では分かっているつもりでも行動できないと意味がないので、今日から毎日自分の笑顔を鏡で見ようと思います。また、「言わないと何もできない人が多い」とおっしゃっていたのを聞いて、自分もその中の一人ではないかと思いました。今日そのことに気づけたので、自分から積極的にいろいろなことを行うよう意識していきたいと思いました。先生や先輩がやっていることを見て「教えてもらおう」ではなく、「いいところを盗もう」と自ら学んでいく姿勢が大切だと思いました。受け身ではなく、自分からということを意識してこれからの学生生活を送っていきたいです。(N.T)